

令和8年度 学校評価アンケート（保護者用）集計結果と学校の考え・回答

1 回答の概要

保護者アンケートには、99名分（1年生 15件、2年生 14件、3年生 19件、4年生 15件、5年生 20件、6年生 16件）のご回答をいただきました。ご多用の中、アンケートにご協力いただき、心より感謝申し上げます。以下、設問項目ごとの集計結果と、学校としての受け止め及び今後の対応の方向性をお示しいたします。

2 集計結果 斜体が肯定率（A+B）70%以下の項目

領域	設問	A よくあてはまる	B まあまああてはまる	C あまりあてはまらない	D あてはまらない	A+B 肯定率
学習・意欲	楽しく学校に通っている	47.5%	49.5%	3%	0%	97.0%
	学習内容を理解している	15.2%	73.7%	10.1%	1%	88.9%
	考えたり調べたりできている	10.1%	67.7%	22.2%	0%	77.8%
	自分の気持ちや考えを話せる	12.2%	65.3%	22.4%	0%	77.5%
	知識・技能が身についている	15.2%	76.8%	8.1%	0%	92.0%
	家庭学習（がっちりタイム）	13.1%	40.4%	38.4%	8.1%	<u>53.5%</u>
	読書に親しんでいる	16.2%	33.3%	39.4%	11.1%	<u>49.5%</u>
	英語学習を楽しんでいる	14.1%	60.6%	25.3%	0%	74.7%
	タブレット等を使った授業を楽しんでいる	53.5%	41.4%	5.1%	0%	94.9%
生活・心の教育	自分からあいさつをしている	22.2%	55.6%	19.2%	3%	77.8%
	良さや頑張りを認められ自信をもって生活している	20.2%	72.7%	7.1%	0%	92.9%
	友達を大切にして仲良く生活している	31.3%	65.7%	3%	0%	97.0%
	きまりを守って生活している	18.2%	71.7%	9.1%	1%	89.9%
	生活リズムが身についている	31.3%	58.6%	9.1%	1%	89.9%
	メディアルールを守っている	16.2%	48.5%	23.2%	12.1%	<u>64.7%</u>
安全・地域	交通ルールを守り安全に登下校	34.7%	63.3%	2%	0%	98.0%
	郷土愛が育っている	9.1%	69.7%	20.2%	1%	78.8%
	子ども会・地域行事に参加	34.3%	49.5%	15.2%	1%	83.8%
	将来の夢を親子で話す	13.1%	55.6%	28.3%	3%	<u>68.7%</u>
学校運営	必要な情報を適切に発信	24.2%	67.7%	5.1%	3%	91.9%
	安心・安全できれいな環境づくり	37.4%	59.6%	2%	1%	97.0%
	「みんなの願い2026」を意識した取組	15.5%	81.4%	2.1%	1%	96.9%

3 学校としての総合的な受け止め

多くの項目で肯定的な評価（「よくあてはまる」「まあまああてはまる」の合計）をいただいております、特に、

- ・「楽しく学校に通っている」（97.0%）
- ・「友達を大切にしてお互いに仲良く生活している」（97.0%）
- ・「タブレット等を使った授業を楽しんでいる」（94.9%）
- ・「良さががんばりを認められ自信をもって生活している」（92.9%）

などの項目については高い評価をいただきました。これは、今年度導入した教科担任制（職員の得意分野を生かした指導体制）や、一人一人のよさを認め合う日常の関わりなど、本校の取組の成果の一端であると受け止めています。

また、

- ・クラブ活動が児童主体になり楽しく参加できているというお声
- ・ホームページでの日々の発信への感謝のお言葉
- ・日頃の相談対応やきめ細かな指導への温かいお言葉

など、本校の取組に対して多くのご理解とご評価をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。こうした取組は今後も大切に継続してまいります。同様に、保護者の皆様に学校と歩調を合わせて様々にご協力いただいておりますことにも、改めて御礼申し上げます。そうした日頃のご理解とご協力があってこそ、学校は子どもたちのために様々な取組を進めることができています。

4 重点課題への学校の考えと今後の方向性

多くの肯定的な評価の一方で、課題や検討事項となることもありました。以下の8点について、本校の課題・次年度にむけた検討事項として受け止めております。

（１）登下校の安全指導・規範意識の醸成（特に大切に考えていること）

【いただいたお声】

- ・通学班における上級生の下級生への関わり方、下校時のふざけ合いやトラブルについて、複数のご家庭から具体的なご指摘をいただきました。
- ・熊出没や熱中症等、緊急時の対応（一人下校の回避、暑さ対策として指定帽子以外の着用許可、保護者への連絡）についても改善を求めるとのご意見がありました。

【学校の考え】

- ・登下校の様子については、今回いただいたお声を大切に受け止め、児童の実態を正確に把握し、これからも粘り強く、適正な指導と見取りを繰り返してまいります。
- ・下校時のトラブルが発生した場合は、これまで同様、必要に応じて双方の保護者の方へ状況を丁寧にお伝えし、学校と家庭で歩調を合わせて解決・改善を目指していきます。
- ・熊出没や熱中症等、緊急時の下校対応については、正確な情報を把握しながら児童の安全を最優先し、必要に応じて集団下校や職員による付き添いや見回り、引き渡し等の是非を判断していきます。
- ・暑さ対策として指定帽子（黄色い帽子）以外の着用については、登下校の安全確保（帽子が黄色いことによる運転手への注意喚起）と合わせて考えていかなければいけません。現在町内小学校では入学の際に黄色い帽子をいただき、それを着用して登下校をしております。望ましい安全な登下校ができることを最優先にしながらも、町PTA連絡協議会等でも議題に上げ、検討してまいりたいと思います。
- ・スクールバスの通年運行に関するご要望については、運行主体（教育委員会等）との協議が必要な事項であるため、要望があったことを伝えてまいりたいと思います。

アンケートの回答では「交通ルールを守り、安全に登下校できている」という設問自体は98.0%と

高い肯定率でしたが、自由記述では登下校に関するご意見を最も多くいただきました。上級生の下級生への関わり方、通学班でのふざけ合いや下校時のトラブル、熊出没や熱中症時の対応など、学校としても、大切に受け止めたいと考えています。また、登下校時の児童の様子については、学校が見取れる場面には限りがあり、通学路やご近所での様子など、ご家庭だからこそ気づかれることも多くあるのではないかと思います。お子さんの登下校の様子で気になることがございましたら、ぜひご家庭でも折に触れて、望ましい登下校の仕方についてお子さんとお話しただけですと、大変心強く思います。

(2) 放課後・地域での過ごし方について

【いただいたお声】

- ・1学期に下校後の地域での過ごし方について、保護者の方や地域の方々から、公共物への落書き、田んぼや水路でのいたずら、自転車の乗り方（道路にはみ出す、飛び出す等）に関するご指摘をいただきました。

【学校の考え】

- ・こうした状況を見過ごすことなく、個別指導とあわせて、公共の場での遊び方やマナー、安全な自転車の乗り方について、全校朝会や学級指導の中で引き続き粘り強く指導してまいります。

下校後、お子さんがどこで、どのように過ごしているかは、学校からはなかなか見えにくい時間帯でもございます。ぜひご家庭でも、お子さんがどこで誰とどのように遊んでいるか、折に触れて話題にさせていただき、公共物を大切にすることや、安全な行動について、お子さんと一緒に考えていただけますと、大変ありがたく思います。

(3) いじめの未然防止・早期発見体制の強化

【いただいたお声】

- ・いじめアンケートでは全てのいじめを拾いきれないのではないかとのご指摘をいただきました。

【学校の考え】

- ・「いじめは絶対に許されない」という認識を児童にもたせ、適切な個別指導と学校全体での指導を行い、友達の気持ちを共感的に理解できる豊かな心を全教育活動で大切にしていまいります。
- ・ご指摘を真摯に受け止め、日常の観察、教育相談、スクールカウンセラーの活用など、早期発見体制をより一層強化してまいります。
- ・いじめアンケート回答後も、状況を個別に確認しフォローすることを心がけ、「答えても対応してもらえない」と児童に感じさせることのないよう努めてまいります。

いじめアンケートは、文科省より年2回実施（6月と11月）が義務付けられています。アンケートの実施時期を待たず、日頃の様子で気になることがございましたら、どんな小さなことでも構いませんので、いつでも学校にお知らせください。今回の「友達を大切にして仲良く生活している」という学校評価アンケート項目では97.0%の肯定率をいただいておりますが、決してそれに甘んじることなく早期発見と早期対応を大切に考えております。担任はもちろん、養護教諭やスクールカウンセラーなど、お子さんやご家庭に合った相談先をご案内いたします。ご家庭からの一言が、お子さんの小さな変化に気づく大切な手がかりになります。今後も、学校と家庭がいつでも話し合える関係を大切にしていまいりたいと思います。

(4) 家庭学習習慣・読書習慣の定着

【学校の考え】

- ・家庭学習「がっちりタイム」の取り組みについて、学年ごと、または個別に指導を繰り返していきます。ご家庭でもお声がけと見取りをお願いいたします。
- ・読書習慣については、金曜日の読書の時間の充実、自分の目標冊数の意識化など、児童が自然に本に親しめる環境づくり、本を読もうとする仕組みづくりに努めます。

家庭学習「がっちりタイム」の実施状況について肯定的評価は53.5%にとどまり、読書習慣につい

ても肯定的評価は 49.5%と、約半数のご家庭で十分に定着していない状況がうかがえます。学習を「自分事」として捉え、自ら机に向かう習慣づくりは、学校・家庭が歩調を合わせて取り組むべき課題と捉えています。

（５）行事運営の改善（行事の平日開催・給食／弁当対応等）

【学校の考え】

- ・平日開催の行事について、保護者の就労状況等を踏まえたご意見（土曜開催の要望、雨天順延時の対応等）をいただきました。次年度の教育課程（年間計画）作成時に検討してまいりたいと思います。
- ・運動会等のお弁当対応については、衛生管理・保護者負担の両面からご意見をいただいております、給食対応の可否を含めて検討してまいりたいと思います。
- ・雨天順延の判断基準や代替開催方法（体育館実施等）、水泳記録会・引き渡し訓練の実施時間設定についても次年度の教育課程（年間計画）作成時に検討してまいりたいと思います。

（６）ICT 活用と持ち帰り負担の軽減

【学校の考え】

- ・タブレットの毎日の持ち帰りについて、荷物の重さや破損リスクへのご懸念をいただきました。学年・単元ごとに持ち帰りの必要性を精査し、負担軽減ができるか考えてまいりたいと思います。

（７）情報発信の在り方の見直し

【学校の考え】

- ・お便り等のペーパーレス化（配信システムの活用）についても検討してまいりたいと思います。
- ・行事案内等の周知時期については、可能な限り早めの発信を心掛けていきます。

（８）施設・安全面の点検

【学校の考え】

- ・遊具でのけがについてご指摘をいただきました。全校での使い方・約束の再確認を行うとともに、児童自身が安全な遊び方について実践できるように指導していきます。

5 おわりに

学校・家庭・地域が、それぞれの立場で「自分事」として関わっていくことで、初めて子どもたちの育ちをしっかりと支えられるものであると捉えております。学校としても、子どもたちのよりよい成長のため、これからも粘り強く指導と見取り、励ましを重ねてまいります。どうぞご家庭でもお力添えをいただけますよう、お願い申し上げます。